

アオキ新品種「湘南ひこぼし」「湘南おりひめ」誕生!!

アオキは日本在来の常緑低木樹で、バラエティに富んだ斑入りの葉、鮮やかな赤い実は観賞性が高く、古くから庭木として親しまれています。また、耐寒性、耐陰性に優れることから、ビルの谷間の日陰地や屋内などで観葉植物的な利用も増加してきています。

農総研では、散り斑で細葉の2品種「湘南ひこぼし」「湘南おりひめ」を育成し、2004年に登録申請を行いました。

主要な特性は、「湘南ひこぼし」は、樹高は約1.5m前後の雄株で、葉は葉身長が14cm程度の長楕円形で、表面の色は暗黄緑、浅黄色の散り斑が入ります。花は、花径9.2mm、花高3.3mmの灰赤色で、1枝当たり85.6花と多めの雄花を付けます。一方、「湘南おりひめ」は、樹高は約1.5m前後の雌株で、葉は葉身長が11cmと「湘南ひこぼし」より小さい長楕円形で、表面の色は暗黄緑、浅黄色の散り斑が入ります。花は花径8.8mm、花高6.0mmの赤褐色で、1枝当たり12.6花の雌花を付けます。また、3～4月にかけて濃橙赤色の実が、1枝当たり2.6個程度結実します。

今後、2品種セットで、庭木として屋外での利用、観葉植物的な屋内での鉢物としての利用が期待されます。



図1 ‘湘南ひこぼし’



図2 ‘湘南おりひめ’

表1 育成系統および対照品種の葉の特性

品種名	葉身の形	葉身長(cm)	葉身幅(cm)	表面の色	斑のタイプ	斑の色
湘南ひこぼし	長楕円形	14.3	3.7	暗黄緑(3508)	散り斑	浅黄(2504)
湘南おりひめ	長楕円形	11.0	3.1	暗黄緑(3509)	散り斑	浅黄(2504)

表2 育成系統および対照品種の実の特性

品種名	形状	長さ(cm)	径(cm)	実の色	1枝当り実数
湘南おりひめ	楕円形	1.5	1.0	濃橙赤(0707)	2.6

*表1、表2共に色の表現は日本園芸植物標準色票による。()内はカラーチャートの番号。